

今、高校生が考える生成AIとの付き合い方 ―「誤情報・偽情報」を超えた活用法を考える―

開催地： 仙台

グループ：

E班

2024.8.2

生成AIと法整備

生成AIに対して
法整備は必要なのか？

生成AIを用いた起きた事件(2024年7月)

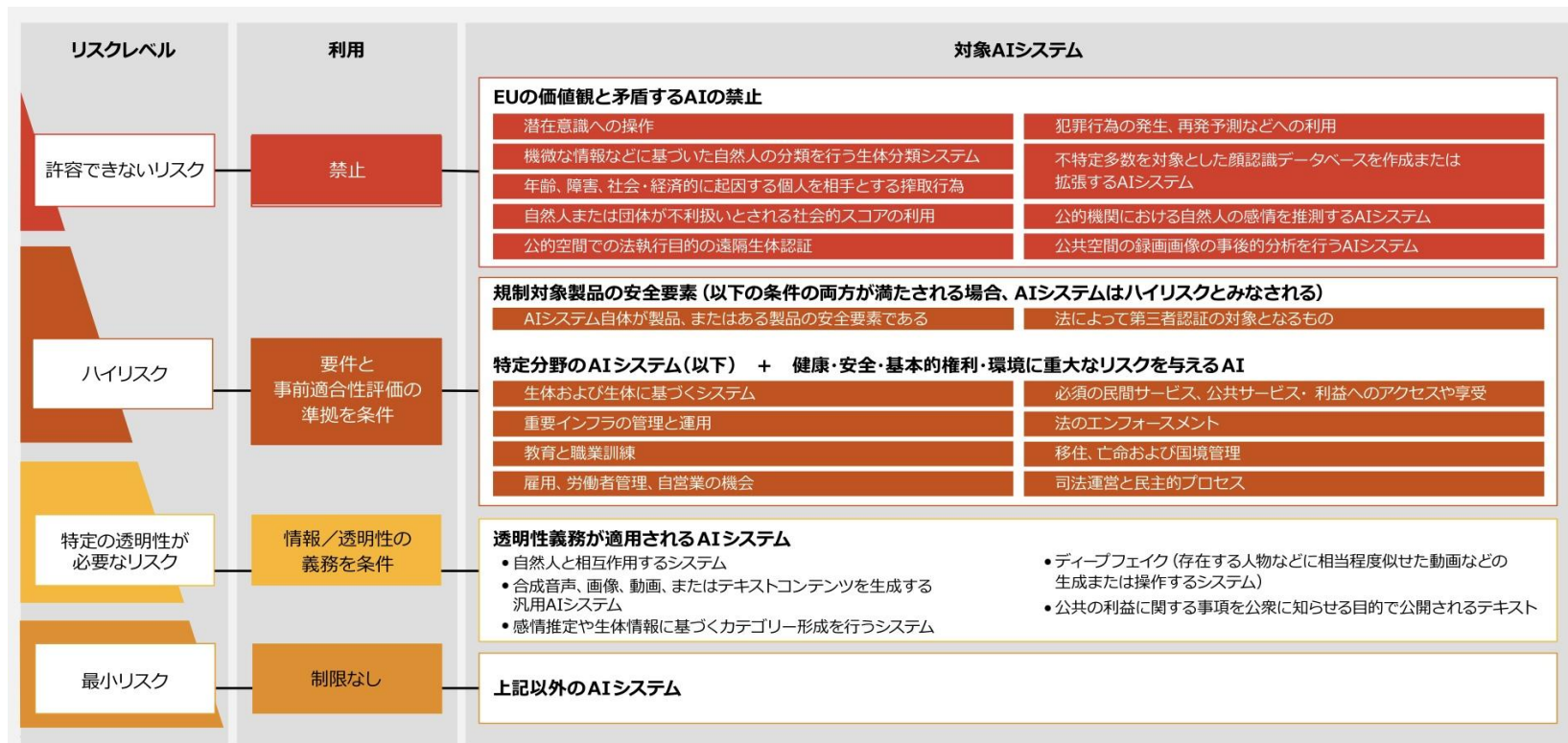
※以前は黒人の9割が
バイデンに投票していた

9月の次期選挙での
黒人有権者に影響か。。



生成AIが作成した画像

EU	日本
AI規制法 AI責任司令案 製造物責任司令の改正案	AIに直接的な法律はなし ただし、著作権法や憲法を組み合わせ、 AIによる事情に対応 EUの法令、判例を参考に



日本においても
さらに法整備をするべきだと考える。

ただ、それらには多くの課題があり
時間がかかるであろう。

参考文献

偽バイデンvs偽トランプ、24時間討論 AIで偽情報拡散: 日本経済新聞

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOGN2415C0U4A520C2000000/>

概要と適用タイムライン・企業に求められる対応

<https://www.pwc.com/jp/ja/knowledge/column/awareness-cyber-security/generative-ai-regulation10.html#:~:text=2024%E5%B9%B4%E6%9C%88%E6%96%BD%E8%A1%8C%E3%81%95%E3%82%8C%E3%81%A6%E3%81%84%E3%81%8D%E3%81%BE%E3%81%99%25E3%2580%2582>

生成AIによる権利侵害に対する諸外国における法制度上の対応(著作権侵害への対応)

<https://www.nttdata-strategy.com/knowledge/reports/2024/240612/>